



みらいっうしん

7月号

2025年7月1日
田園調布学園大学
みらいこども園
園長 勝浦 芳子

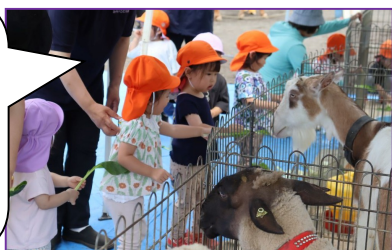
暑さに負けず元気よく

6月からは茹るような猛暑続きで、熱中症や体調を崩す人が多いと、注意を促す報道が多く流れていました。本園でもまめな水分補給や休息を取りながら、子ども達の体調の変化を常に見守っておりましたが、今年の梅雨は雨が少なく、蒸し暑さに加えて、強い日差し、高温ということで、職員共ども悲鳴をあげています。そんな中でも、子ども達の好きなことを見つけて暑さを吹き飛ばしているのを見ると、こちらまで、「頑張らなくちゃ」と元気をもらっています。猛暑はこれからも続くと予想されますので、体調には十分お気をつけください。

さて、念願のプール遊びが始まりました。乳児組さんは、中庭に水遊びの道具を出し、水の感触を味わいながら楽しそうに遊んでいます。幼児組は、園庭に大きなプールを設置したことで、「早くプールに入りたいよ!」「いつ入るの?」と、皆、心待ちにしていました。「今日からプールが始まりますよー」と声をかけると、日頃のお着替えよりも早く水着に着替え、スタンバイ OK! 体操をして、シャワーを浴びて、いざプールサイドに集まると、ワクワク、ドキドキ感は、最高潮に膨れ上がり、子ども達は、今か今かと待っていました。プール開きの儀式として、子どもの安全を祈願するお塩のお清めも、真剣な表情で見つめている姿があり、人は興味関心があるものには、こんなにも集中するものなのだなと痛感しました。「それではどうぞ」という合図で、プールに入りましたが、想像以上に水が冷たく感じたようで、「ワ〜冷たい」とここでも感情があふれ出し、友達と笑顔で共感していました。水をかけたり、泳いだり、ワニさん歩きをしたり、ペットボトルを使ったり、それぞれ遊び方は違いますが、水の事故が起こらないように、安全で楽しくプールで遊べるように工夫していきたいと考えています。ほし組さんは、7月からたくさん楽しみたいですね。今年は、暑さ対策として、直射日光が当たらないようにプールの上に、大きいテントを張り、プールに多く入れるよう配慮しました。それでも、気温が高く熱中症が起こる危険な状況の場合は、晴れていてもプールに入れない時もあります。本園では、園庭に、黒球熱中症指数計(熱中アラーム)を設置していますが、子ども達も、にじ組になると「ピーピー鳴ってるよ。」「お庭にいると危険じゃない?」などと声を掛け合っている姿も見られるようになり、子ども達自ら命の大切さを少しずつではありますが、感じとってくれていることは、大変うれしく思います。その他の遊びに目を向けると、園庭では、砂場遊び、水遊び、泥んこ遊び、泥団子作り、虫取り、花探し、カエル探し、お池のメダカ観察、野菜づくりなど、興味を持つものは人さまざまですが、身近な自然に親しみながら、好みの道具を使って満足するまで遊びを楽しんでいます。この自然体験から生まれる感動は、とても大切で、命の気配に触れることで、五官(目、耳、鼻、舌、皮膚)が生き生きと活動し始め、五感(見る、聞く、嗅ぐ、味わう、触れる)も、研ぎ澄まれていきます。今後も、自然に大いに触れられる遊びが展開していけるように環境を整えていきたいと思います。室内でも、友達と関わる遊びが増え、遊びに膨らみを感じます。子ども達の探求心がさらに芽生えることを期待します。

7月7日は、年に一度、織姫と彦星が会える神話にあやかっ、星に願いをこめる七夕の日です。今年も、新城小学校の笹を分けていただいて、笹に願い事を書いた短冊をつけたり、飾り物を作ったりして、七夕の行事を子ども達と一緒に楽しみます。子ども達と保護者の皆様の願いが天に届くといいですね。今月は、七夕コンサート、なつまつりと行事が続きますので、大いに楽しみたいですね。

ちよつと、ドキドキだけど・・・、食べてくれるかな



にじ組さんが笹運び



5年生とバケツ稲の苗植え



5・5交流